



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 不二硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 5212 URL <https://www.silicox.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小熊 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 高濱 英司

TEL 03-3617-5111

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,710	4.4	113	51.7	135	40.0	83	29.0
2022年3月期	2,596	2.3	74	26.5	96	24.1	64	16.5

(注) 包括利益 2023年3月期 578百万円 ( %) 2022年3月期 105百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	40.71		2.7	3.0	4.2
2022年3月期	31.57		2.2	2.3	2.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	4,885	3,525	70.2	1,669.30
2022年3月期	4,161	2,962	69.1	1,398.78

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,431百万円 2022年3月期 2,875百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	38	78	47	553
2022年3月期	114	77	64	641

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期				7.50	7.50	15	23.8	0.5
2023年3月期				7.50	7.50	15	18.4	0.5
2024年3月期(予想)				7.50	7.50			

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	4.7	100	17.7	110	14.2	70	12.2	34.05
通期	2,750	1.5	125	10.1	150	10.5	95	13.5	46.21

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	2,142,000 株	2022年3月期	2,142,000 株
期末自己株式数	2023年3月期	86,293 株	2022年3月期	86,243 株
期中平均株式数	2023年3月期	2,055,707 株	2022年3月期	2,055,757 株

(参考)個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,710	4.4	61	36.6	91	19.1	63	13.6
2022年3月期	2,596	2.3	44	26.3	76	18.9	55	11.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	30.65	
2022年3月期	26.99	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	4,521	3,171	70.2	1,542.98
2022年3月期	3,853	2,636	68.4	1,282.53

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,171百万円 2022年3月期 2,636百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,480	3.3	80	18.3	60	1.7	29.19
通期	2,750	1.5	100	9.1	70	11.1	34.05

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(6) 事業等のリスク .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
5. その他 .....	15
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する制限の段階的な緩和とそれに伴う経済活動の正常化が進む一方で、急激な円安の進行やウクライナ情勢の長期化とそれに伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いており、経済の先行きについては注視していく必要があります。

当社グループの属する医薬容器業界は、主需要先の医薬業界において薬価制度の抜本改革（毎年薬価改定等）が行われ、後発品使用促進等、医療費抑制要請が強まっております。また、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医療機関への受診抑制傾向が続いております。

このような環境下、当社グループといたしましては、感染予防対策を徹底し生産及び営業活動を停止することなく操業を行い、主要製品であります注射薬用容器の「アンプル」「管瓶」の安定供給に全力を注ぎ、主力製品である「管瓶」をインフルエンザワクチン用として供給いたしました。また、国内製薬会社が開発中の新型コロナウイルス感染症ワクチンの治験用に供給を継続しておりますが、製品化の情報はなく国内産新型コロナウイルス感染症ワクチンの上市には至っておりません。

当連結会計年度の売上高につきましては、「アンプル」「管瓶」「その他」の品目で売上が増加したことで前年を上回り、売上高2,710百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

利益面につきましては、稼働率・製造歩留りの向上及び経費削減に取り組みましたが、原油価格の高騰により加工用燃料ほか製造資材の価格が上昇し、経営成績の維持が難しい状況となり当社製品の価格改定を実施いたしました。結果、営業利益113百万円（前年同期比51.7%増）、経常利益135百万円（前年同期比40.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は83百万円（前年同期比29.0%増）とそれぞれ増加しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は2,022百万円（前連結会計年度末は1,979百万円）となり、42百万円増加しました。これは現金及び預金が減少（651百万円から611百万円へ39百万円減）した一方で、商品及び製品が増加（388百万円から473百万円へ84百万円増）したことが主な要因であります。

固定資産の残高は2,862百万円（前連結会計年度末は2,181百万円）となり、681百万円増加しました。これは有形固定資産の減少（907百万円から880百万円へ27百万円減）した一方で、投資有価証券が増加（1,223百万円から1,925百万円へ702百万円増）したことが主な要因であります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債の残高は1,360百万円（前連結会計年度末は1,199百万円）となり、161百万円増加しました。これは長期借入金が増加（76百万円から143百万円へ67百万円増）、その他の流動負債が増加（162百万円から215百万円へ53百万円増）した一方で、繰延税金負債が増加（308百万円から523百万円へ215百万円増）及び未払法人税等が増加（14百万円から37百万円へ22百万円増）したことが主な要因であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は3,525百万円（前連結会計年度末は2,962百万円）となり、562百万円増加しました。その他有価証券評価差額金が増加（755百万円から1,242百万円へ487百万円増）及び利益剰余金が増加（2,046百万円から2,114百万円へ68百万円増）したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、当連結会計年度末には553百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、38百万円(前年同期114百万円の収入)となりました。これは主に棚卸資産の増加98百万円、法人税等の支払額25百万円、未払消費税等の減少14百万円及び仕入債務の減少14百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益135百万円及び減価償却費58百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、78百万円(前年同期77百万円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入308百万円があった一方で、定期預金の預入による支出351百万円及び有形固定資産の取得による支出33百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、47百万円(前年同期64百万円の使用)となりました。これは主に新規の長期借入れによる収入80百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出111百万円及び配当金の支払による支出15百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	68.6	68.7	69.3	69.1	70.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	28.7	20.1	74.8	44.9	47.5
キャッシュフロー対有利子負債比率 (年)	1.0	1.2	1.4	1.5	3.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	91.5	84.8	96.4	85.8	36.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。  
 3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。  
 4. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

当医薬容器業界の今後の見通しにつきましては、主たる得意先である医薬品業界において、政府による薬価改定ほか医療費抑制要請が強まっており、引き続き厳しい受注環境となることが推測されます。さらには円安の進行やウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格及び原材料価格の高騰等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、主力製品を中心に販売促進を強化するとともに、徹底したコストダウンの推進と財務体質の改善を図り、安定供給と業績の向上に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、医薬品業界において新型コロナウイルス感染症の影響で医療機関への受診抑制傾向が続いたことによる在庫の増加傾向が見られます。これに伴い、前期より受注数は減少すると見込まれる一方で、加工用燃料、原材料等の製造コストの上昇を起因とした当社製品の価格改定を実施した状況下で業績予想の算出を行い、売上高2,750百万円、営業利益125百万円、経常利益150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益95百万円を見込んでおります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考え、業績及び配当性向等を総合的に勘案し、安定的・継続的な配当を実施して、株主の皆様のご期待にお応えする所存であります。

内部留保につきましては、高度な品質を求められる厳しい経営環境に対応するために、研究開発及び生産・販売の合理化投資と事業活動の安定化のための財務体質強化に充てる予定であります。これら投資は将来における収益確保に不可欠のものと考えております。

2023年3月期におきましては、利益分配に関する基本方針および今後の事業展開等を勘案いたしまして、1株当たり期末配当金を7円50銭にする旨を定時株主総会に付議させて頂く予定です。

次期の配当につきましては、上記の基本方針及び今後の業績見通し等を勘案した結果、1株当たり期末配当金は7円50銭を見込んでおります。

(6) 事業等のリスク

当社グループの業績は、今後起こりうる様々な要因により影響を受ける可能性があります。当社グループの業績に影響を及ぼす可能性のある主なリスクとしては、以下のようなものが考えられます。

① 市場の変化

主需要先である医薬品業界における市場の変化やインフルエンザ等のパンデミックの発生動向等により、当社グループの売上は大きく影響を受ける可能性があります。

② 法令または規制の変化

主需要先である医薬品業界の医薬品事業は、薬事規制や製造物責任等の様々な法規制に関連しており、法規制の制定や改定により当社グループの製品を包装材料として使用する医薬品の製剤中止や生産量が減少する可能性があるため、これらの法令または規制の変化が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

③ 薬価の改定

主需要先である医薬品業界において、医療費抑制政策の一環として医療用医薬品の薬価が毎年改定されますが、薬価が引き下げられるに伴う価格協力等が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

④ 工場の閉鎖及び操業停止

技術上もしくは規制上の問題、使用原材料の供給停止、インフルエンザ等のパンデミック、または火災、地震その他の災害等により、工場が閉鎖または操業停止となった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 内部統制の整備等

当社グループは、金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の評価および監査の基準ならびに実施基準に準拠し、財務報告に係る有効な内部統制システムを整備し、その適正な運用に努めております。しかし、内部統制が有効に機能せず、あるいは予期しない内部統制上の問題により、多大な損失が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

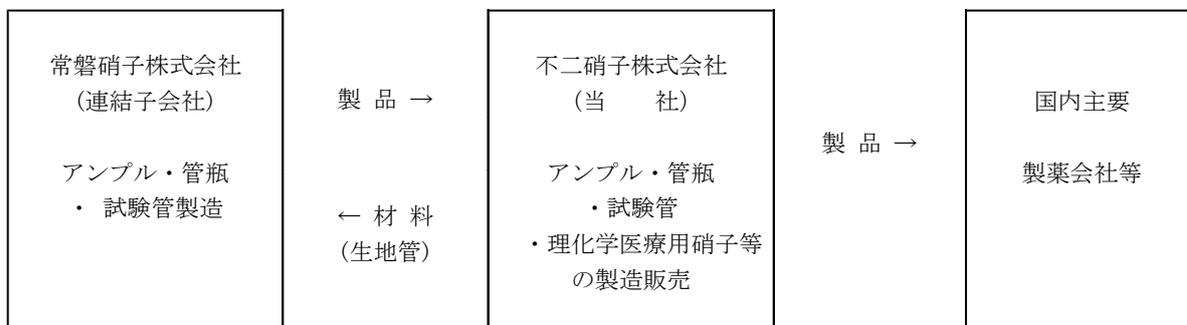
⑥ 金融市況

市場性のある株式等を保有しているため、株式市況の変動によってはこれらの株式等の売却損や評価損が生じる可能性があります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（不二硝子株式会社）及び連結子会社（常磐硝子株式会社）より構成されており、当社はアンプル、管瓶（バイアル瓶）、試験管、理化学医療用硝子等の製造及び販売を事業としており、常磐硝子株式会社は、アンプル、管瓶、試験管を製造して、すべて当社へ販売しております。

(系統図)



## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	651,134	611,144
受取手形及び売掛金	539,657	534,608
有価証券	270,145	266,198
商品及び製品	388,454	473,393
仕掛品	2,656	2,709
原材料及び貯蔵品	77,406	91,045
未収入金	46,590	40,312
その他	4,611	4,031
貸倒引当金	△679	△717
流動資産合計	1,979,979	2,022,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,311,902	1,326,525
減価償却累計額	△982,115	△999,416
建物及び構築物(純額)	329,787	327,109
機械装置及び運搬具	2,144,909	2,094,807
減価償却累計額	△2,049,059	△2,015,794
機械装置及び運搬具(純額)	95,850	79,013
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	14,677	8,277
その他	90,789	93,928
減価償却累計額	△66,176	△70,582
その他(純額)	24,613	23,346
有形固定資産合計	907,447	880,265
無形固定資産	1,524	1,197
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,011	1,925,321
繰延税金資産	11,836	17,568
その他	44,381	44,360
貸倒引当金	△6,307	△5,807
投資その他の資産合計	1,272,921	1,981,442
固定資産合計	2,181,893	2,862,906
資産合計	4,161,872	4,885,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,608	152,968
1年内返済予定の長期借入金	92,600	90,200
未払法人税等	14,444	37,295
未払事業所税	7,409	7,409
賞与引当金	65,618	66,148
その他	162,669	143,771
流動負債合計	510,350	497,792
固定負債		
長期借入金	76,800	47,800
繰延税金負債	308,398	523,415
役員退職慰労引当金	168,373	155,869
退職給付に係る負債	106,272	106,739
資産除去債務	28,863	28,879
固定負債合計	688,707	862,704
負債合計	1,199,057	1,360,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	2,046,560	2,114,834
自己株式	△33,848	△33,894
株主資本合計	2,120,394	2,188,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755,162	1,242,973
その他の包括利益累計額合計	755,162	1,242,973
非支配株主持分	87,257	93,540
純資産合計	2,962,814	3,525,137
負債純資産合計	4,161,872	4,885,633

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,596,488	2,710,384
売上原価	2,076,798	2,166,043
売上総利益	519,690	544,340
販売費及び一般管理費	444,845	430,783
営業利益	74,845	113,557
営業外収益		
受取利息	73	78
受取配当金	19,101	19,813
受取賃貸料	5,389	5,426
その他	5,798	5,191
営業外収益合計	30,362	30,510
営業外費用		
支払利息	1,361	1,056
賃貸費用	6,944	7,305
営業外費用合計	8,305	8,361
経常利益	96,902	135,706
特別利益		
固定資産売却益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
固定資産除却損	324	111
特別損失合計	324	111
税金等調整前当期純利益	96,577	135,625
法人税、住民税及び事業税	25,182	48,178
法人税等調整額	2,585	△3,578
法人税等合計	27,767	44,599
当期純利益	68,809	91,025
非支配株主に帰属する当期純利益	3,909	7,333
親会社株主に帰属する当期純利益	64,899	83,692

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	68,809	91,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174,419	487,810
その他の包括利益合計	△174,419	487,810
包括利益	△105,609	578,836
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△109,519	571,503
非支配株主に係る包括利益	3,909	7,333

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,100	582	1,997,079	△33,848	2,070,913
当期変動額					
剰余金の配当			△15,418		△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益			64,899		64,899
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	49,481	—	49,481
当期末残高	107,100	582	2,046,560	△33,848	2,120,394

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	929,581	929,581	84,397	3,084,892
当期変動額				
剰余金の配当				△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益				64,899
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△174,419	△174,419	2,859	△171,559
当期変動額合計	△174,419	△174,419	2,859	△122,077
当期末残高	755,162	755,162	87,257	2,962,814

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	107,100	582	2,046,560	△33,848	2,120,394
当期変動額					
剰余金の配当			△15,418		△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益			83,692		83,692
自己株式の取得				△45	△45
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	68,274	△45	68,228
当期末残高	107,100	582	2,114,834	△33,894	2,188,623

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	755,162	755,162	87,257	2,962,814
当期変動額				
剰余金の配当				△15,418
親会社株主に帰属する当期純利益				83,692
自己株式の取得				△45
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	487,810	487,810	6,283	494,094
当期変動額合計	487,810	487,810	6,283	562,322
当期末残高	1,242,973	1,242,973	93,540	3,525,137

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	96,577	135,625
減価償却費	62,185	58,217
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,336	530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△484	△462
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,141	△12,504
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,727	466
受取利息及び受取配当金	△19,174	△19,891
支払利息	1,361	1,056
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△29
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,274	5,049
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△70,492	△98,630
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,040	△14,640
未収入金の増減額 (△は増加)	△8,702	6,278
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,604	△14,960
その他	20,251	△4,672
小計	133,641	41,431
利息及び配当金の受取額	19,176	19,891
利息の支払額	△1,330	△1,045
法人税等の支払額	△37,356	△25,326
法人税等の還付額	—	3,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,130	38,585
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△303,891	△351,868
定期預金の払戻による収入	274,132	308,645
有形固定資産の取得による支出	△45,613	△33,219
投資有価証券の取得による支出	△1,612	△1,635
その他	△936	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,922	△78,056
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	80,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△127,400	△111,400
自己株式の取得による支出	—	△45
配当金の支払額	△15,633	△15,193
非支配株主への配当金の支払額	△1,050	△1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,083	△47,689
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△27,874	△87,160
現金及び現金同等物の期首残高	669,013	641,139
現金及び現金同等物の期末残高	641,139	553,979

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を占める顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を占める顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,398.78円	1,669.30円
1株当たり当期純利益金額	31.57円	40.71円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	64,899	83,692
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	64,899	83,692
期中平均株式数 (千株)	2,055	2,055

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. その他

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### ① 生産実績

当連結会計年度の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	299,325	115.4
管瓶	1,884,295	103.7
その他	47,894	102.2
合計	2,231,514	105.1

(注) 金額は平均販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### ② 受注状況

当連結会計年度の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	340,354	110.2	88,063	111.6
管瓶	1,903,803	87.9	676,856	77.2
その他	278,688	96.0	154,214	102.2
合計	2,522,846	91.2	919,134	83.1

(注) 金額は平均販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### ③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
アンプル	331,173	103.9
管瓶	2,103,914	102.7
その他	275,296	120.5
合計	2,710,384	104.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。